

令和5年度 第3回西伊豆町立文教施設等整備委員会会議録

- 1 日 時 令和6年1月19日（金） 19：00～
- 2 場 所 西伊豆町中央公民館（安良里） 3階多目的ホール
- 3 出席者  
委 員 高井廣、生田繁善、藤井文憲、浅賀丈吉、窪田いづみ、  
花田麻莉子、中平阿美、山本諭、島田桂吾、金刺和子、  
藤井節子、藤井定男、山本久美子、齋藤雅子、山本美生、  
渡邊篤之、土屋有一  
オブザーバー 山本憶久、鈴木ゆきみ  
町当局 鈴木教育長、朝倉事務局長、山本みち代、萩原宏実

事務局長：皆さんこんばんは。定刻となりましたので第3回の文教施設等整備委員会を開催したいと思います。本日は夜の会議の中、御参加いただきましてありがとうございます。それでは只今から令和5年度の第3回の文教施設等整備委員会を開催いたします。よろしくお願いいたします。

それでは、お手元の次第に沿って進めて参りたいと思います。着座にて失礼いたします。まず初めに次第2の委員長挨拶ということで委員長から挨拶をお願いいたします。

委員長：皆さんこんばんは。明けましておめでとうございます。今年もよろしくお願いいたします。と言っている元日の日にですね、大地震が北陸の方で起きてなかなか大変だったり、次に日に飛行機事故があったり、なんか年が変わってすぐなんかざわざわとするような気持ちで新年に入ったかなと思います。大学は結構1月は立て込んでいて卒論の提出もそうなんですけれども、この間の土日は共通テストがあって大学教諭のテスト監督に5日間缶詰めになる毎年恒例でした。5日間ずっと〇〇・・・〇〇でした。そういった中でですね、〇〇〇〇もありながらそういった意味で改めて早急に検討して行かなきゃいけない案件だなと思うところもありつつ、一方でやはり丁寧な議論ですかね、きちんとそういった意味も深めながら皆さんで納得会を最適な納得会を得られるようなかたちでこの〇〇議論を進めて行きたいなと思いますので、何卒御協力の程よろしくお願いいたします。

それでは3番、教育長挨拶ということで教育長の方からお願いいたします。

教育長：皆さんこんばんは。寒い中ありがとうございます。今、委員長が言い

ましたように正月早々に色々あって、能登半島の方の地震を見ますと津波だけではなくて山が崩れる災害とかですね、そういうのもありますので全体的に色々判断して行かなければならない案件だなと思います。今年は辰年ですのでこれから良い方向に〇〇・・・〇〇。

事務局長：続きまして次第の4の議題に入りますが、進行につきましては委員会規則の規定によりまして委員長の方に会の進行をお願いいたします。よろしく申し上げます。

委員長：はい、よろしく申し上げます。〇〇の議題が2つです。まず1つ目が候補地状況整理シートということです。これは前回皆さんの方に宿題として御提出いただいたものをまとめていただきましたので、その内容について確認等また〇〇事項ですとか解釈について確認する事項等についてこの委員会の中で各候補地ごとに検討して行きたいなというふうに思います。その前に(2)が評価基準ということで私的には皆さんの方に採点していただいて、その平均値や合計点を踏まえて〇〇〇〇して行きたいなと思うんですが、これについて素案の方を作成していただきましたのでそれについて皆さんの方からその評価基準について今度は進めて行きたいなと思います。

それではまず1つ目の候補地状況整理シートについてまずは事務局の方から御説明の方をよろしくをお願いいたします。

山本係長：では、認定こども園用地の候補地状況整理シートにつきまして説明させていただきます。今回、候補地状況整理シートにつきましては各候補地、皆様にいただきました御意見を元にそれぞれメリット・デメリットあるいは疑問点や課題と言ったところを教育委員会の方で、こちらはメリットであろうデメリットであろうといったかたちでこちらの方に記入させていただきました。場合によっては、御意見が「そういうことじゃないんだよ。」という方もいらっしゃるかも知れませんが、その際にはまた御意見をいただければというふうに思いますのでよろしくをお願いいたします。今回、この状況整理シートにつきましては、各候補地それぞれについて作成しております。すべて内容としては同じようなかたちに一部なっているかも知れませんが、それぞれの皆様の御意見についてまとめさせていただいたということになります。

では、候補地1の安良里につきまして説明させていただきますが先ほども申しましたように、御意見が違っていかという場合には全部説明させていただいた後にまた御意見をいただければなというふうに思っておりますのでよろしくをお願いいたします。

では、安良里中田避難地から説明させていただきます。こちらにつ

きましては、やはり多くに皆様方が津波浸水想定外であるというところを御意見を述べていらっしやったかなというふうに思います。防災面としましては、やはり土砂災害が一部先ほどの津波以外には土石流の警戒区域に入っているということもございますが、やはり津波対策と津波想定区域外という面が大きいのではないかという御意見でした。更に土地利用としましては、少し狭いという御意見がありましたけれどもそこに疑問点や課題に記入してありますが、隣に畑があるので繋げて買収したら良いのではないかという御意見がございました。こちらについては実際お話を進めてみないと何とも分からないところではありますけれども、畑の持ち主も高齢となり耕作が大変になったと話して来ているという御意見もございますので、そういった地域の御意見というのは今後の参考になるのかなというふうに考えております。土地利用のところで、地形・成形地形状とございますがこちら不整形と書いております。こちらについては、整形地というのが長方形とか正方形のように形が整っている土地をいうようでした、現在の安良里の中田避難地についてはちょっとやはり角ばっていると言いますか凸凹としている所ありますので不整形ということになるかと思えます。ここが不整形となった場合には今後の使い方であるとか、この下にあります用地建設の面で多少費用がかかって来る可能性もあるかなというところもあります。続きまして、教育環境です。こちらは教育環境となっておりますが、保育・教育環境ということになると思えます。周辺状況といたしましては、日当たりはやはり良いのではないかと思います。皆様の御意見の中では、静かで良い保育環境だという意見。あとはデメリットとしては、裏山が採石場となっているということがございますがそこにつきましてはまたこの後、多少意見があるかと思えますけれども、この点については地域の皆様の御意見を少しいただきたいかなと思えます。アクセスについては、道路の幅員4.1メートルとありますが恐らくですね、あの4.1メートルという幅についてもスクールバス、園用のスクールバスであれば通行は可能かなというふうに思っております。道路の幅は狭いがそんなに支障はないように思われると記載していただいていますけれども、こちらの方はおっしゃるとおり恐らくは通行に関しては支障はないのでは、園用のスクールバスが通行する分には支障はないのではないかという御意見。ただデメリットとしては、徒歩圏内で利用出来る子どもが少ないということ。あとは対策として、遠方の園児に園バスが出るのかという御意見もございます。用地・建設につきましては、先ほども少し意見も出ておりましたけれども、やはり民有地ということもご

ざいましてまず土地の取得費用がかかって来るということ。あと造成地、進入路、工事をするに当たりましては進入路の整備が必要になって来であろうということ。令和4年当時ですね、こども園だけで建設費用が5.3億円かかるのではないと言われておりましたが、その後の物価高騰で建設に関しましてはどの程度かかるのかという面がございます。こちらの意見については教育委員会の方で補足させていただきました。この今、説明させていただきました用地・建設のこの建設費に関しましては教育委員会の方で全て補足させていただいておりますので御了承ください。地域性、こちらにつきましては候補地データの部分、空白、地域との関わりと合意形成のしやすさというところが空白となっておりますが、こちらについてもやはり地域の方々に直接この場で御意見をいただいて、例えば「地域との関わりは良好だよ。」とか「十分協力をいただけるよ。」あるいは「反対があるかも知れないよ。」とか「騒音にはちょっとうるさいかも知れないよ。」とかですね、そういった御意見を少しいただければなというふうに考えております。ただ、こちらの課題点と同じで近くに病院があり、子どもの声が騒音になってしまうのではないかと御意見がありますが、こちらについてもこの地域との関わりとか合意形成のしやすさというところに関わってくるのかなというふうに思っております。続いてその他、まちづくりの視点ですが安良里につきましてはここは空白となっておりますが、この後また候補地の評価基準案の方で見てくださいけれども、施設としての複合性や拡張性があるのかということについてはまたこちらも安良里に作った場合にどうなのか、どうだろうかということについては皆様に少し御意見をいただければなというふうに思っております。

続きまして、裏面の田子小学校について説明させていただきます。田子小学校の防災面につきましては、やはり皆様が安良里と同じように気にされていらっしゃる津波浸水区域につきましては、区域外であるということについてはメリットであろうと考えていただいております。その反面、やはり裏山。急傾斜土石流の警戒区域であるということ。裏山の補強は可能かという御意見をいただいております。土地利用につきましては、整形地、グラウンドなどは整えられておりますので整形地に当たるのかなという考えでございます。またメリットとしましては、土地が町有地であるということ。ただ地盤が持つのかという御意見も出ております。続きまして、教育環境ですが安良里の地区とちょっと逆でして冬については少し日当たりが悪いところ。夏は十分に日当たりがありますが冬については日当たりが悪いと

ということです。自然環境は豊富となっております。また田子小学校はグラウンドが芝生ということもありまして保育をする環境としては最適ではないかという意見が出ております。アクセスは皆様が心配していただいていますように取付道路が細く保護者の送迎が困難。周辺道路が狭いという御意見が出ております。進入路付近については3.5メートルということですので、この幅であればですね園用のバスちょっと29人乗りとかよりは小さいものであれば運転手さんなどは可能ではないかという意見はありますが、またその辺は皆様から直接御意見を伺いたいと思います。用地・建設につきましては、先ほども申しましたように町有地でございます。ただ、やはり疑問点や課題として改修費についてはどの程度かかるかというところ、今のところちょっとすぐに算出するのは難しいかなというふうに思っております。また、造成費である造成費と言いますか、その建物を改修する工事とは別に道路の造成費とかですかね、こちらの方と進入路の整備工事あるいは裏山の整備が必要となった場合には裏山の補強費用が必要となって来るかと思えます。地域性・その他につきましても、委員の皆様の意見をお伺いしたいというふうに思っておりますのでよろしくお願いいたします。

続きまして、らの里駐車場跡です。やはり防災面につきましては土石流の一部警戒区域が入っているということ。ただ半面メリットとしましては、津波浸水区域外であるというメリットがあると思えます。土地利用に関しましては、面積としては大変広いということもございましてロケーションは良いということですね。それから町有地であるということ。一方で以前の小中学校統合時に埋立地なので建設は無理とされたという御意見がございますので、盛土が深く危険というデメリットを掲載されています。保育環境としましては、周辺状況、周辺に民家が無い。面積が広く子どもたちの遊び場として良いものの孤立した場所であるという意見がございます。地域との関わりを持つことは難しいのではないかという意見。用地・建設に関しましては、擁壁だけでなく進入路の改修も必要ということもございまして工事費が高額になるのではないかという意見がございます。また、地域との関わり、地域性につきましては保育環境の部分と併せまして人里から離れていて不審者の侵入があるとか、道路から高い位置に平地があるため人の目が行き届かないというところ。地域との関わりが持てないというデメリットを上げていただいております。

続きまして、らの里駐車場跡地です。こちらにつきましては防災面について、土石流の一部警戒区域であるところ。そして土地利用の

面で土地の確保が困難である場合には除外すべきではないかという意見をいただいております。また、保育環境では安全性が低い、散歩が難しいという意見が出ております。地域性につきましても旧洋ランセンター跡地と同様でなかなか難しいという意見が観光地である、住民の目が少ないという意見が上がっております。

続きまして旧西伊豆中学校跡地です。旧西伊豆中学校跡地につきましては、やはり防災面で危惧されていらっしゃる方が多くいらっしゃいます。津波の心配という面、津波浸水区域内であるため候補に入れる必要はないという意見もございました。また、裏山の山崩れであるとか盛土をしなければならないというデメリットを上げていらっしゃいます。土地利用につきましては、7,000平方メートルという土地の広さがありますが、あと町有地ですね町有地というメリットもございます。一方で保育環境につきましては、安全性が低いという意見と保育をするには良い環境、周辺に住宅地域も近いということで保育をするには良い環境という意見がありました。アクセスとしましては周辺道路が狭いという意見ですね。また用地・建設に関しましては取付道路があるから建設が容易になるのではないかという意見が出ております。こちら近くまで行ったことがある方ですと御存知かも知れませんが、建設用道路としまして道路が今は使われておりませんが道路がすでに建設されておりますので、そちらの道路のことをおっしゃっているのかなというふうに思います。続いて地域性・その他についてはまたこちらも皆様の御意見を伺いながらこちら埋めて行けたらなというふうに考えております。

続きまして裏面、先川です。先川につきましては防災、こちらは水害があります。こちらは津波が5.0メートル未満ではございますが水害の可能性というところが危惧されております。ただ一方でメリットとしまして津波浸水区域外であるというところ。また土地利用としましては土地の確保が困難ではないか。逆に一貫校ほどの広さは要らないので青地除外以外の場所でこの近辺は可能かという意見もございます。その他として、こちらに関しましては問題解決が出来れば望ましい土地である反面、話し合いの余地はないという意見ですね、話し合いが進まないのであれば候補地から外して欲しいという意見が出ております。

今、6箇所の候補地につきまして一通り皆様の御意見を整理したかたちでこちら状況整理シートに記載させていただきました意見を整理させていただきました。この後、例えば順番に皆様の安良里地区からそれぞれの意見がありましたら、皆様の意見をお伺い出来ればと

いうふうに思っておりますが如何でしょうか。

委員長：ありがとうございます。今、候補地の状況整理シートについて御説明いただきました。ここからは各候補地ごとに記載内容についても御質問や確認あるいは〇〇ところに例えばこんなことが言えるのではないかとかですね、こう書いてあるけどこう解釈もできるのではないかとというようなですね、意見もそれぞれの立場で各部から御意見をいただければと思います。

それではまず初めに候補地1 中田避難地付近（安良里）この状況整理シートについて質問や御意見、〇〇〇〇方は挙手で発言をお願いいたします。如何でしょうか。

委員：地域性のところで近くに病院があるってありますけれども、私たちその側で毎朝ラジオ体操をやってますけど、中に入っているとラジオ体操の音なんて聞こえないって言うので、これは騒音の心配はする必要はないと思います。すぐ隣りってわけではないので病院の、だから大丈夫だと思います。

委員長：はい、ありがとうございます。地域性のところですね、騒音が心配されているって〇〇かれましてけれども、実際活動されている方の意見として心配ないのではないかとという御意見でした。他に如何ですか。

委員：3番の教育環境の中でデメリットの方で裏山が採石場となっていると書いてありますけれども、今この建設、一応候補地としてこの採石場というのは何百メートルと離れているわけですよ。隣接というわけではないと思います。それとダンプとトラックの通行があるということですがこの建設用地にあります候補地はですね、その1個の道路ではなく何回でも入る道路は確保出来るんでね、その辺はちょっとまた違うのかなって感じがしています。

委員長：はい、ありがとうございます。今、採石場の所がデメリットと書いてあるんだけど道も確保出来るし、そういった意味ではそんなにデメリットではないんじゃないかという御意見です。

委員：直接その採石の現場というのはそれこそ何百メートルも離れているわけで直接教育にはそんな影響ないんじゃないかなという気がします。

委員長：はい、分かりました。これはあれですかデメリットのところ、音か何かを気にされて書かれたのかも知れないなと思ったんですが。ありがとうございます。他に如何でしょうか。では、もし何かあればまた最後に戻って来ますのでまた見ていただければと思います。

では、続いて候補地2 田子小学校の状況整理シートについて御質問や御意見あるいは〇〇等構いませんので御意見のある方は御発言

をお願いいたします。如何でしょうか。

委員：1番の防災のところで3番、裏山の補強は可能かっていうのは今、この地震騒ぎでよく補強してある所もあの力で押されちゃったら何にも自然の力は強いもんで補強するってことはあまり考えて、最初からそういう所は危ない所はよせばいいような気がしますけど、あの山を見て危険じゃないかなとは〇〇しました。やっぱりこちらの方に書いてあるように避難地として利用したいという気持ちも分かるんですけども避難地だったらなおさらそういう裏山の崩れている所はこども園には適してないのかな。

委員長：はい、ありがとうございます。いずれにせよ裏山の補強をしなければならぬという状況であれば最初からやらない方が良く、こども園としては選ばない方が良くはないという御意見です、ありがとうございます。他に如何でしょうか。

委員：このアクセスの関係ですが、一応は田子小へ上がるには旧国道の方から上がるって言っても道幅がかなり狭いわけですね。今回、能登地震の関係でなんか見ると倒壊家屋がかなり出てますね。それと安良里地区も同じように田子地区は特に〇〇してますね、密集している。そうしますとその密集している家が恐らく昭和57年古い建築基準によって作られた家が大部分だと思うんですよ。それを考えて行くとなおさらその地震なんていつ起きるか分からないということを考えるとちょっとその辺がどうかかなんていう感じがする。

委員長：はい、ありがとうございます。他に如何でしょうか。じゃあまた〇〇〇をお願いいたします。

それでは候補地3旧洋ランセンター跡地についてですね、こちらについて内容の確認あるいは御意見だったり空欄のところにこんな記述が出来るのではないかとということがございましたら、御発言いただければと思いますが如何でしょうか。ここ前回、候補地について専門的な御説明をいただいた所ですけれどもなかなかハードルが厳しいということだったのかなと思います。ただ面積が広くて町有地で遊び場としては良いけれどもその反面孤立しているとか広過ぎるですね、そういった課題が資料シートの中で確認出来たかなと思います。また何かあれば挙手いただければと思います。

では候補地4らんの里駐車場跡について、こちらについて如何でしょうか。

委員：ちょっとお聞きしたいんですけど、土地の購入がすごい難しいという話だったんですけど何か具体的にその土地を保有している人が何か特別な理由があって売りにたくない、絶対に売りにたくないって何か

そこでまた別の事業をやるとかなんかそういう特別な理由があつての購入出来ないっていう感じなのか、なんかこちら側が何かを譲渡すれば買えないこともないのかそんな感じが分かる範囲で教えてもらいたい。

委員長：ありがとうございます。この辺り、いつ頃どうかたちで投げかけたか、それに対してこういう回答だったという具体的な〇〇・・・〇〇をお願いします。

事務局長：何年の何月ってちょっと今、パッと浮かんでできませんけど、先川地区がダメになってもう一度その候補地をじゃあ提案地があるかいう中で、保護者さんとか議員さんに募って出て来た1つの案でした。そこをまず用地を買収出来るのか確認して来いと言われたので対面でお話をしました。こういう話が上がってますけど、そういうふうになった場合に売っていただけるかという話をしたんですけども、夏場とかお客さんが多い時にはそっちを駐車場として開放しているとか職員の駐車場として使っている中で、観光業を潰すのかというようなちょっときついお言葉をいただいた中でのことでしたので、今はなかなか難しいだろうというところでその時にはそういう感じをいただいたということです。

委員長：ありがとうございます。今の御説明でよろしいですか。他に如何でしょうか。これについてまた〇〇・・・〇〇出してもらいたいなと思います。

それでは候補地5旧西伊豆中学校跡地について、こちらについて御意見がある方はお聞かせいただければと思いますが、如何でしょうか。元々はここで小学校、中学校、こども園を併設の土地の候補であったんですけども土砂災害のところが厳しいということで見送ったけれども、もしかしたら出来るかも知れないっていうお話。ただ津波の想定区域内ということがデメリットとして書かれている〇〇・・・〇〇。よろしいですか、ありがとうございます。

それでは最後、候補地6先川地区について。これが〇〇一番近かった候補地なんですけれども、こちらについての記述や御意見についてお聞かせいただければと思いますが、如何でしょうか。特に2番の土地利用のところですね、青地のところについてかなり厳しいのではないかと。ただ当初の計画は一貫校だったんで今回はこども園ということで少し規模が異なるということでももしかしたら条件が変わっているのでも〇〇〇〇ことを考えている方もいらっしゃるのかなと思います。この辺あたりは解釈がそれぞれかなと思いますが。あと補足で何か確認する事項とかあったらよろしいでしょうか。はい、あ

りがとうございます。では一通りですね、候補地1から6まで聞いてきましたけれども全体を通じてまずこのシートの〇〇シートについて改めて確認したいこととか御意見等あれば言っていただければ如何でしょうか。

委員：これを見て分かるように私たちの町って100%安全とか100%良い所って本当に津波が来るから山の上とか何しろ道路が狭い、何かしら〇〇もあるので私はあとここに金額を書いてない、もちろん調整や何かですぐに出るお金、金額ではないと思うんですけど例えばマイナスはこうだけここは例えば1億で出来る。こっちはマイナスはこうだけど10億かかるとかそういう比べてみないと絶対ここが良いっていう所は残念ながらこれを見ても選べないので、もし出来ればそういう、もしここでやったらこういうことをしてこれだけかかって、じゃあこっちとどうだろうみたいな私はそういう比較が出来たら良いなと思います。

委員長：御意見ありがとうございます。まあ、採点するに当たって比較するだけのデータ、情報がもう少し欲しいということですね。そのうちの1つとして今、御指摘いただいたのがその金額のところですかね。この辺り不確定要素が多くて、これっていうのは難しいのかも知れませんが例えば候補地1の中田避難地ですと用地取得が必要だったりします。けどそれだけですと例えばこれくらい。今度は逆にさっきそういう何か比較するデータが欲しいと言いますかね。ありがとうございます。

委員：私も同じような意見なんですけど、やっぱ目の前が海で後ろを振り返るとすぐに山で、能登の地震と同じように伊豆半島と能登半島はよく似てるって言われて、例えば田子地区なんか西伊豆町、静岡県内でも耐震化率がすごい低いって言われていて、そういう障害物がない所とか色々ね、この1月1日の地震の後で色々考えるとまた考えが色々変わったんですけど、例えば小中えーとごめんなんさい、旧西伊豆中学校跡地に建物を建てました。例えばここに土肥の保育園とか幼稚園にあるようなすごく高い避難タワーを併設するとか、本当に100%安全な場所って絶対に無いし、ここにはこの程度の津波しか来ないよって言われても例えば今回みたいに千年に一度の何とかがっていう災害が来た場合にそのこれくらいだったら大丈夫っていうものを作るよりもあの確実に、まあ確実に無いのかも知れないですけどより安全な高さで避難タワーを併設するとか、そこで命が助かったら二次避難みたいなかたちでまたさらに安全な避難の場所、生活が一時的に出来るような場所に移動出来れば命は助かるのかなと思うので、例えば

先川はちょっとあれなんですけれども、例えば旧西伊豆中学校の跡地であればそういうものを建設するとか、もっと早くその安全を確保するっていう意味であれば、ここの候補地には無いんですけど今現在の認定こども園に例えばそういう避難タワー的なもう少し増設出来る高さが設けられるものが建てられるのであれば増設できるのであればそういうもので対応して、子どもたちが大きな移動も無く命が助けられる守れるっていうものを作るとか、あの新しい場所の選定だけでもあとどれぐらい決定するのにどれぐらいかかるか分からないし、決定しても最低でも2年はかかるっていう建設までに2年かかるっていう話だったので、議論は大事なのかも知れないですけどまあいつ来るか分からない災害と、あとどこに居ても確実に安全と言えないのであれば今ある認定こども園にさらに高い避難タワーないし逃げられる建物を増設してもらおうとか地盤の問題とかもあるんですけど、そういうことも検討しても良いのかなと思います。

委員長：はい、ありがとうございます。今のところは前にデメリットが無い場所は無いので、ただそのデメリットをいかに小さくすることが出来るか。それは各候補地ごとでそのデメリットは違うのでその対処の仕方を例えばここで議論してそれが実際可能かどうかというのを検証してもらってまたそれをフィールドバッグしてもらってある程度皆さんの中でこれだったら行けるかも知れないっていうような〇〇で評価して〇〇・・・〇〇と思います。とても大事な御指摘だったかなと思いますので、また改めて各候補地のデメリットをちょっとピックアップしながらそれがじゃあ解消出来るのか、解消するためにはどんなやり方が出来るのか、あるいはそれが実際可能なかどうかというかたちで色々出して意見の方を出していただければなと思います。せっかく候補地5の旧西伊豆中学校跡地について、〇〇から御意見が出て来ました。ここの一番のデメリットは津波想定区域にあるということ。そのデメリットの解消としてその盛土をするっていうところが手段として出て来るんですが、じゃあどれぐらいの高さを想定するのか、それによって山本さんがおっしゃったそのお金の面ですとか、あとあそこも裏山があったりするんでそういった避難地をどうするのかっていうところが出て来るのかなと思います。ただ、ここについてたぶん過去に候補地になった時に想定されてた〇〇と思いますので、もしその少しその辺りの説明していただければというでしたら事務局の方から少し〇〇・・・〇〇もし分かれば教えていただければ、もしあれだったら次回でも構いませんけど如何でしょうか。調べてもらってる間に他にこの西伊豆中学校跡地についてのそのデメリットを解消すると

ころ、周辺道路が狭いっていうところがありますが。

委員：周辺道路はあの今、取付道路を作ったんですよ。あれはあの西伊豆中学校を壊すのに〇〇を作って、まだそれを確保してあるんです。あれは年間契約で土地の人と町がしているところです。1年1年の契約でまだ契約をしている。あれを壊してからもう何年経つんだらうね。それをずっと契約してるそうです。なんか町としても何か使おうとしているのかなってことを。それからですね、私もあの小中一貫の議論をずっとしてたんですけどね、あそこがなぜダメだというのは裏山が土砂崩れで危ないと。もう小学校も裏に土砂止めをやってそういう関係でその危ないからっていうことで最終的にはダメになったっていう経過があるんですよ。〇〇・・・〇〇そんなに心配はないんじゃないかな。もう一つは、と思ったんですけど小中の時にね。すぐ裏山に避難路があるんですよ。〇〇・・・〇〇。最終的にあそこのところは津波浸水内なのでダメだということだに〇〇。

委員長：ありがとうございます。この裏山のところについては今現在イエローゾーンということになっていると前回説明があったかなと思います。これがレッドゾーンにもしなったらですね、土地の開発というか建築物が出来ないんですけども、それを決めるのも県の仕事なんですけど今のところそのレッドゾーンにはなっていないという〇〇が、それがなるかも知れないという感じでそうなったんですが、じゃあまだなっていないってところがあるのでそういう意味でちょっと状況が2年前と違って来ているということも少し念頭に置いていただければなと思います。

委員：あの幼稚園生を、園児を例えば集約する時に0歳からバスに乗せてその園まで行くんですか。それは年齢で決まってそういった輸送をすることになるのか、そこのところを聞かせていただきたいです。

委員長：それは災害の時、日常？

委員：日常。

委員長：山本先生に聞けばわかるでしょ。

山本園長：今、伊豆海認定こども園は通園バスを利用しております。しかし、3歳からでしか乗せられませんということでお預かりしています。0歳、1歳、2歳の子たちをバスに乗せるということは不可能です。職員が1人しか付いていません。なので3歳からしかバスには乗れません。ということでやっています。

委員長：〇〇0、1、2の場合は保護者様の直接の送迎ということですよ。3歳から4歳の場合は保護者送迎の方も居るけれども園バスを利用することも可能。実際それを今、利用している感じ。よろしいでしょ

うか。他にこの西伊豆中学校跡地で如何でしょうか。

委員：今の話と〇〇ですけれども、今、例えば宇久須に行っちゃったらすごく遠くなるとか時間がかかるという話をこの前の会合の時にもしたんですけれども、その行く、本当に何年かじゃないですか。で、それ作ったら何十年も多分これから運営して行くわけですから、そのあんまり遠いって言う時間が私は今はその考えるべきではないんじゃないかっていう私の意見です。それともう1つは、例えばの話がどうしても通えなかったら今、空き家がいっぱいあるので町が前、小学校の時にも提案したんですけれども、町が例えば仲介してあげてその子どもを保育園の居る子どもの保育園の近くに引っ越したいというような人が居たら、その空き家にあっせんしてあげるようなそういう色んなもうちょっとこう手を尽くせば色んなそういうことも対処できるんじゃないかなと思います。

委員長：はい、ありがとうございます。まあ、どちらかと言ったら旧西伊豆中学校跡地というよりも他の所のあれですよ。民家から離れている所であってもそういった空き家とか上手く使えば遠いってことはデメリットにはならないのではないかということ。

委員：こっちは半分で、こっちが遠いというのは考えなくて良いんじゃないかなって言うのが私の考えです。

委員長：はい、ありがとうございます。他に如何でしょうか。

委員：今、遠いとか近いとかというのも考えれると思うんですけど、要はこの旧西伊豆中学校とかこのエリアに園ないし、本当だったら小中一貫校もあれば、例えば大きな病院、西伊豆病院があったりだとか何かあった時に人の手が借りられるとか、一時的に例えば命が助かった後の移動できる先があったりだとか、今、小・中は賀茂に通ってますけど私はもうそこに行ったこと自体はどうとかってことではないですけど、何かあった時にやっぱり陸の孤島になるのは今回の地震を見てるとちょっとだいぶ心配になりました。その時に例えば「安良里診療所に行きたいよ。」とか、「病院にかかりたいよ。」とかって言った時には、どうしてもたぶん国道が寸断されればどうしてもすぐに何かあってもいれない状況が生まれるのかなって思います。ただ、この辺りも旧西伊豆中学校跡地のエリアに仮に保育園、認定こども園が建った場合には例えばケアしてくれる人の手が多くあることと、例えば食糧だったりとか備蓄、あとその病院が近くにあるということだからと言って園児が優先的に診てもらえるということではないんですけれども、保護者からしたらちょっと安心感っていうのはかなり大きいのかなって言うふうには思います。

委員長：ありがとうございます。今の御意見は整理シートでいうと7のその他のところ、まちづくりの視点というところのメリットにも入るのかも知れないなど。例えば、西伊豆中学校跡地ですと元々小学校、中学校造る〇〇しましたので、例えば拡張的にこども園だけじゃなくて小学校、中学校あるいは福祉施設ですとか町のコミュニティー施設なんかも拡張性という意味でももしかしたら土地があるということですね。そういった拡張性があるということと、やはり多く住んでいる方から近いということでもの安心感というところも今、メリットとして残していただけたかなと思います。それぞれやはりそういったメリットもあったりするので、一方でデメリットもある。本当はメリットが100でデメリットが0というところが選べれば良いんでしょうけれども、やっぱりそういった場所はありませんのでその辺りをどうやって工夫をしながら、やっぱりある程度のそれ以上のメリットだったり、あと日常の時と非日常の時の両方ですね、〇〇〇〇必要かも知れないなどそういった御意見をいただいたかなと思います。ここの候補地関係なくですね、ここでメリットとしてこんなやり方があるんじゃないかとか、もっとこんなメリットがあるんじゃないかというのを他の候補地の中でもしお気付きの点があればいただければと思います。如何でしょうか。

事務局長：委員長、先ほどの質問に。

委員長：じゃあ、先ほどの旧西伊豆中学校跡地の盛土の高さについての御質問にお答えいたします。

事務局長：当初の計画の時にはですね、3メートル60センチほど約3メートル60センチほど盛土するというような計画でいました。そこにかかる費用が6億5千万円というような試算、あくまでもこれは本当の設計じゃないものですから予備設計的にやってるので6億5千万円というような概算費用を見込んでいたということでございます。それから先ほど副委員長からもありましたけれども進入路の関係ですが、単年契約ではなくて6年契約だったと思うんです。令和7年の3月まで契約期間があるということでございます。ここにつきましては、中区からここに道路を整備していただけないかというような要望書が今、町に提出されている状況でございます。砂利の状態ですから公道としては当然解放できません。しかしながら農業者の方、主にササキアロエさんになろうかと思いますがあの辺で農業をやっておりますので自己管理の中で進入して閉じてもらうというようなかたちで、農道的なかたちで今、利用されているというような状況でございます。

委員長：はい、ありがとうございます。もし、その辺り次回のところとか

で過去の資料をなんかこう文字化して残していただくことをちょっと御検討いただければと思います。

他に如何でしょう。ちょっとじゃあ、候補地2の田子小学校のところで裏山の状況についてちょっと御意見がありましたけれども、この辺の補強は現状はどのような〇〇〇〇だったかということと、地盤についてですね調査したかどうか、調査の有無と見通しというんですかね、その辺りをお示しいただいて。

事務局長：今現状の中ではですね、調査というものはしておりません。急傾斜地崩壊危険区域に指定されております、急傾斜地じゃないすいません失礼しました。土砂災害の警戒区域は指定されてございますが、田子小学校の裏山については土木事務所が整備するような擁壁というものが整備されておりません。急傾斜施設として整備されているということではなくて、一度過去に裏山が崩れた際に海側ですね、校舎の海側が昔講堂だったですね、そちら側が崩れて講堂を建て替える時に後ろの山に対して擁壁がやってあるという状況ですので、そこは校舎を建てるために後ろを整備しているということで急傾斜施設として県が整備しているという事実はありませんし、県の方もそういった調査というのは今現在はいないというふうに把握しています。

委員長：ありがとうございます。もしこの辺を確認するとすると新たな調査が必要ということになって来るかなと思います。同じように道路のところですね、あの辺のところについても現状何かの調査をしたりだとかっていうことを確保していないんですかね？

事務局長：していません。

委員長：ですので、もしその辺りを整備するとするとじゃあそれが実際何メートルとかっていう調査から〇〇というところが必要になって来るかなど、そういった意味でもしかしたら時間が多少かかるというところも出て来る〇〇〇〇かも知れない。ただ、その辺の調査をしっかりやることで安全性も確保することが出来るという解釈も出来るかなとは思いますが。あとはメリットのところで出て来たところは候補地4のらんの里駐車場のところ、用地買収の可能性はどうかというところで、先ほどの回答からするとちょっと厳しい状況かなというところでなかなかこの辺りを説得して、じゃあまた別のやり方を考えて行かなきゃいけないかなとは思いますが。候補地6の先川のところについても恐らく面積ですとかそういった状況によっても説明の仕方が〇〇とデメリットの解消とするにはかなりハードルが高いという状況なのかも知れません。そういった意味で候補地1の中田避難地のところについてはそのデメリットとして指摘されているところについては、今日

委員の皆様の方からそこまでデメリットとしては少ないのではないかとというようなところが出て来ました。ただその他メリットとかそういったもの、あるいはその立地のところですかね。特に多く住んでいる方からは離れていたりとかそういったところに当たりますので、そういったメリット・デメリットの比較をしながらどう考えて行くかというところにもなるかなと思います。他に如何でしょうか。

ちょっと、一旦こういったことをまた次回それぞれの〇〇でどういう解消の仕方が出来るかっていうことをもう一度資料を見ながらですね、皆さんと〇〇した上で再度検討して行くかたちの方が良いかなと思います。

委員：すいません。旧西伊豆中の件ですけど、レッドゾーンになる可能性があるということで中止になったわけですけど、こども園だけだと例えば栗原の上側のところに建てれば傾斜地が山がちょっと遠いですし、あの辺ならまあこども園だけなら良いかなと思うんですけど、その盛土の件があるんですけど3メートルどんかいていうか盛土をしなければならぬことですけど、先ほどの意見で近くに例えば避難タワーを建設すれば盛土なしで建設が出来るって言うか可能なのかね、その辺がちょっと伺いたいですけど。やっぱり必ず盛土をしなければどうしてもダメなら、ちょっと費用とかもかかるし。だけど栗原側なら場所的には良いような気がするんですけど。

委員長：はい、ありがとうございます。〇〇・・・〇〇、あとその3.6メートルの想定がそのレベル1とかレベル2とかどの辺を想定されたのかその辺を補足していただいて。

事務局長：まず藤井委員がおっしゃってるのは栗原側ですよ、神社の前辺り。当初はその辺に盛土して神社の方に据え付けるようなかたちで計画をしていたということでございます。盛土を3.6メートルという根拠については津波の津波基準高と言われるのがありまして今、基本的にここに掲載されている静岡県のGISとかに掲載されているのは浸水針と言っている浸かる深さ。基準高というのはわぁーと来て、その津波が建物とかに当たった時に一番せり上がる高さというのが公表はされてませんけどデータとしてあります。そのデータを元に決める、決めたといいか根拠としてはこれが良いだろうということで3.6メートルというのを決めていきます。あくまでもそういった基準に従うしかない。それ以上行ったら、想定外という言葉を使って良いのか分かりませんが完全にもありませんので行政としてはそういった基準で3.6メートルというものをやって行ったということです。なぜじゃあ3.6メートル盛土が必要かと言った時に、子どもたちが逃げなく

でも安全な場所の提供ということでそういうふうな計画になったというふうに私は伺っております。こども園の在り方のワークショップの中でも窪田委員がおっしゃったような案が議論されていたと思いましたが。その時にやはり園からすると今の防災訓練とかを見てると0歳児、1歳児を両手に抱えて全部を避難させるということの保障は出来ないという、そこを解決するにはやはりタワーではなくて安全な場所と言いますか、逃げなくても良い場所を確保すべきではというところでそういう意見があったものですから、一応そういう議論はされているということで御理解いただければ。

委員 長：もし西伊豆中学校跡地の場合は〇〇そういった意味で盛土を作っているのは必要〇〇としてあるわけです。確かに〇〇的には津波避難タワーということになるのですが、〇〇山本先生もし今のところで〇〇していただければと思います。園児をその避難させることの難しさ。

山本園長：最後に皆さんにお願いしようと思っていたのですが、今、回って来たので伊豆海認定こども園の山本と言います。よろしくお願いたします。あの今日も実は避難訓練をやりました。1ヶ月に1回の避難訓練です。地震訓練、それからこの前1月1日の時に地震と一緒に火事、火災が起きました。今日は火災の訓練も行いました。スモークマシンで子どもたちに煙の体験をさせました。そして最後に子どもたちに「地震が来たら火事にもなるんだよ。だから両方のことを考えて逃げるんだよ。良い耳で先生の話聞いて逃げるんだよ。」と説明をしました。そして今日の避難訓練の中で通報訓練も行いました。実際に消防署の方に来ていただいて、そして下田消防の方に通報する訓練です。年2回行っています。そして今日私が子どもたちに津波・火災を知らせる役目でした。主任は通報の方に回りました。私が子どもたちと一緒に園庭に逃げました。主任は通報訓練をして最終的に各部屋に誰も残って居ないかの確認をしてから戻りました、逃げました。子どもたちは待てど暮らせど来ない主任を心配して先生は死んでしまったのかと言いました。最後、見回りに行かなければいけない私たちの仕事があります。私か主任のどちらかは最後子どもたちが残っていないかの確認をしてからの避難となります。そして1月1日以降、先生たちは生きた心地がしないまま子どもたちを預かっています。朝7時半、早い子は7時半から来ます。そして夕方の6時まで居ます。家に居る時間より園に居る時間の方がはるかに長いです。そのような中で避難、とっても難しいことです。ぜひ、園だよりの裏に避難訓練の日程が入っています。皆さん、ぜひ一緒に避難していただきたいと思います。まだ、自分たちの足で逃げられない子どもたちなんです。なので、こ

ども園の建設に関して、皆さんこんなに真剣に考えてくれて話し合いをしていただいていることが本当に有難いことなんだなということを今日改めて感じました。なので一刻も早くこの施設整備委員会の皆様の意見が1つにまとまってこども園の建設が良い方向に向かって行くようお願いしたいです。先生たちは100%助けるつもりで100%助ける全員助けるつもりで努力しています。でもあの揺れを見たら、これ一体何分立ち上がれないんだろうっていう恐怖に襲われました。なのでお金のこともそうです土地のこともそうです皆さんいろんな意見があるかと思いますが、本当に全委員会の皆様の意見を1つにさせていただいて良い方向に向かうようお願いしたいと思います。出来れば高い所に居て、安全な場所に居られることが安心して保育が出来る環境であるのではないかと思います。本当にすべてが安全では行きませんが、出来たら本当に高い所に居られることが一番かなというふうに園は思っております。以上です。

委員長：ありがとうございました。子どもたち実際に避難ですね、そういった安全を守ってる園長先生からの御意見だったかなと思います。ただ、改めてですね、今日いただいた意見をまとめながら各候補地について、まず文字として資料としてですね、確認理解をしてさらに〇〇度を深めて皆さんの整備委員会の意見としてまとめて行けるように進めて行きたいなと思います。〇〇・・・〇〇続いて次第の2のところですね、最終的にどの候補地を選んだかということはもちろんこの委員の中で〇〇・・・〇〇不可欠なんです、これを議会ですとか他の方々に説明して行けるようにやっぱりその積極的に説明して行く必要があるのかなと思います。特にそのベストは無いデメリットがある中で〇〇と承知しうえでのやはりここが西伊豆町のこども園としては最適なんだというようなことがですね、〇〇ようなかたちとして出来なかなということ、評価基準案ということで事務局の方から作成していただきましたのでこれについて御説明の方をお願いいたします。

山本係長：では、候補地選定にあたっての評価基準について説明させていただきます。本日この1枚ものの紙を配らせていただきまして、候補地選定にあたっての評価基準（案）と記載されております。こちらにつきましては、先ほど見ていただきました状況整理シートを元にこういった配点をさせていただいております。先ほど来、話が出ておりますその防災の面、安全性の面でこの認定こども園のどうするかという議論が始まったということもございまして、こちらの防災面につきましては他の部分より配点が高く10点としております。津波と水害、土砂災害についての配点を10点とし、その他のところは平均として5点、

平均というより全体として5点というかたちで配点しております。すべてで100点というこの評価基準を作っておりますが、先ほどからいくつか話が出ておりますけれども、実際この中でこういった評価基準で皆様が良いのかどうかというところを御意見をいただければなどというふうに思っております。少し1個1個読み上げさせていただきますのでちょっとお聞きください。

防災につきましては、津波、水害、土砂災害について評価をさせていただくようになりますが、津波、河川洪水、土砂災害に対して安全かということも10点満点で評価していただく表となります。

続きまして2の防犯、こちらは5点となっておりますが防犯対策は確保出来るのかという点。

続いて土地、利点ですね。こちらは整備面として必要最低面積5,000平米程度確保することが出来るのか。他の機能を追加することが出来る余裕を持った面積が確保出来るのかという点。続いて地形・整地形状ですね。先ほど少し状況整理シートの方でも説明させていただきましたがこちらの地形・成形形状が施設の配置がしやすい形状か。あるいは死角等が生じない見通しの良い地形であるか。こちらで5点。

続いて4番、保育・教育環境です。こちらは全部で15点を配点しております。自然環境として西伊豆町の自然を生かした活動が出来るのか、5点。周辺状況として周辺に騒音、臭気等は無く適切な保育環境であるか、こちらに5点。保育活動のしやすさ、お散歩コースなどが確保でき保育環境がしやすいか、5点。

続いてアクセス、利便性です。道路幅員、道路幅員があり緊急車両の進入等に支障が無いか。あるいは通園バスのすれ違いや朝夕の交通渋滞の恐れが無いか、こちらで5点。通園バス、通園バスの駐車場やロータリーが確保出来るか。通園バスが適切に運行出来るか、こちらで5点を配点しております。

続いて6番として用地・建設です。工事費、用地取得費、造成費、建設費、進入路整備費、代替地等のトータルコストが抑えられるのか、こちらで5点です。工事中の周辺への影響、工事による周辺への影響があるか、5点。続いて工期の確保。造成、代替地整備、用地確保などを含めた工期の確保が可能か、5点。

続いて7番、地域性です。地域との関わりについて地域の人に愛され、みんなが来やすい場所であるか、5点。合意形成のしやすさ、5点。住民の合意を得やすい場所であるかで5点です。

その他、まちづくりの視点として複合化など拡張性があるか、5点。全部で100点となっております。こちらについては、0か5点かとい

う配点ではなく、こちらの配点の仕方にもよると思いますけれども5点、4点、3点、1点、0点となるか、5点、3点、1点、0点となるかというところですがこういったかたちで選択いただければというふうに考えております。そちらについても5点か0点で良いんじゃないかという意見もあると思いますので、またそちらについては御意見をいただければと思います。この内容について実際皆様にこれを元に審査いただくようになるとと思いますので、これを判断基準として評価いただくことが可能な内容であるかですね、について御意見をいただければなと思います。例えば防犯の面はもっと意見があるんじゃないかとか、これは要らないんじゃないかといった意見がありましたらお伺いできればと思います。

委員 長：はい、ありがとうございます。では、この評価基準について評価〇〇でこれで行けるかどうかということと採点ですね。特に今は防災面のところが高めになっていてあとは平均点になってるんですけども、場合によっては5というのを他の数字に変えることも出来ますし、やはり最終的にこの合計点がかつ平均点が候補地となった場合にきちんと他の町民の方々に説明が出来るか、そういったあるいはそして皆さんが今の状況でこういった視点で評価出来るかどうか。もし評価したいけどこういった情報が足りないから今は出来ないということであれば、必要な情報、データとかですね、こんな資料ということもお答え出していただけるとより正確に採点されるかなと思いますので、御意見をいただければと思います。では〇〇からでも構いませんので御意見をいただければと思いますが如何でしょうか。

委員 員：防犯なんですけど防犯対策は確保できるかっていうのは、防犯対策が現状じゃなくて対策が出来るかどうかっていうことで良いですか。

委員 長：防犯対策、じゃあ、お願いいたします。

山本係長：現状で防犯対策が出来るかということももちろんですけども、例えばこちらの状況整理シートの方でこういった対策を取れば防犯対策が取れるのではないという意見ももちろんあると思うんですね。例えば人通りを多くするというのは難しいと思いますけども、もっと向きを変えればとかそういった対策が取れる方法があればこちらの方にまたそれも反映させていただきますので理由になると思うんですね。こういった対策を取れば確保できるのではないかということがあればそれは防犯の確保できるというふうに判断していただいて構わないというふうに思います。

委員 員：例えば、防犯カメラかを設置して欲しいというか設置した方が良いんじゃないかっていう場合はそれが出来るか出来ないかに関わらず、防

犯対策として防犯カメラの設置が出来れば良いのではないかっていう場合は5で良いですね。

山本係長：防犯カメラということ为先ほどおっしゃったように出来るか出来ないかという判断がちょっと必要になって来るかなと思いますのでなかなか・・・。現状で人の目が届いているというところで判断していただく方が良いのかなというふうに、防犯カメラだと対策は確かに取れるかも知れないですけど、実際に取れるかやれるかどうかという判断が必要になって来ますので可能な、対策として先ほど言った向きであるとか人通りであるとかというところで防犯対策は確保出来るかというところで判断していただければというふうに思います。

委員長：たぶんここだけね、防犯対策はっていう話になっているのであるいは防犯面は安全かというような表現だったら今の御質問は納得いきますね。ちょっと防犯対策の確保が出来るかってお話で防犯面は安全か、ちょっと考えますけど対策をするという今の現状の防犯面が安全かどうかっていうような〇〇だと御理解していただければと思います。ちょっとそのようなかたちで表現が修正させていただきたいと思います。他に如何でしょうか。

委員：3番の土地と6番の用地・建設はとても私ちょっと読んでも答えられないっていうか、専門性があるんじゃないかなと思うんです。

委員長：はい、ありがとうございます。そんな中、土地のところですね、この辺り土地の面積については前回の資料のところでは面積とかはありますが地形辺りはどういう形にするかというところではまた変わっているかなというところと、6番の工事費用については具体的な金額っていうことは難しいかも知れないんですが、先ほどの例えば盛土だったらこれくらい。例えば、田子小学校の場合だったらまだ調査していないところを調査するためにはこういった費用がかかる。そういったところで御判断いただければなと思います。そういった意味で5か0かという判断はもしかしたら難しいのかなという感覚は持ちましたがその辺りはどうでしょうか。0 1 2 3 4 5っていう採点の方がそういった採点がしやすいということであれば、それを前提に想定していただければなと思いますが。もし確認したいことがあれば何か出していただいて。

委員：6番なんですけれども工期の確保は可能かという設問があるんですけども、工期の確保というのは具体的にはどういうことを指すのかちょっと教えていただきたいです。

委員長：それについて如何でしょうか。

事務局長：御指摘の通りですよ。工期の確保って工事をやれば工期を確保出来

るに決まっていますから、ここちょっと検討させてください。

委員長：趣旨としては工事期間の長さ、長くかかればかかるほど出来るのに時間がかかる。短ければ早く出来るというようなそういった短さと判断基準としていただければ良いんじゃないかなと思います。

委員：すいません、個人的には配点のなんて言ったら良いんでしょうかね、割合を分けるのは難しいと思うんですが、やはりこども園の建設に関しては初めから防災面のやっぱり安全面の確保っていうのが非常に重要視されて来ていた面があるかと思います。もしここで点数付けて、例えば津波・水害・土砂災害全部ダメですでも下全部丸だったら70点なんですね。果たして本当にそれで配点組んで良いのかとちょっと疑問があります。

委員長：はい、ありがとうございます。この辺り当然そういったこともあるんですがあるかなと思いますが、その辺の配点のところは如何でしょうか。そういった意味で下は全部5になっているんですけども、例えばここは5じゃなくて良いよねっていうところは点数を下げるということも出来るかなと思います。防災面のところも点数を少し上げてく、ただ防災面以外のところで2から8の中で、ここは防災ほどではないけれども重要だよっていうことがあるんであればその点数を上げて行くということも可能かなと思いますが。もしその防災面以外でここは重視した方が良いのではないか、あるいはここはそんなに重視しなくても良いんじゃないのっていうところがあれば、これも御意見として出していただけるとありがたいです。如何でしょうか。

委員：例えば西伊豆町の自然を生かした活動が出来るかどうかっていうのは、今現時点で判断するのはちょっとすごく難しいのかなと思います。なんか私の子どもが通っている頃は海に連れて行ってもらったりとか、泥遊びみたいなのをやったりとかっていうことが出来たんですけど、今は例えばアレルギーの子が多かったりとか、海も先生たちやっぱり見回りとか結構大変なので例えば園の中の園庭とかであっても場所が遠い場所であっても、例えば西伊豆町の自然の物を使った木とか何か分かんないけどそういうものを使ったものでその場で活動出来る場合もあるし、それはその建った後の工夫の仕方でもなんかなりそうな気がするので、私たちがここで判断することなのかとか、あと周辺に騒音・臭気はこれじゃなくてお散歩コースが確保出来るかどうかその土地に住んでないのでお散歩のコースが確保出来るかどうかそんな地域に住んでない私たちが判断して良いものなのかとか、どうなんでしょうか。

町民の合意が得られるかどうか、なんか今っていうか私たちがこの

文面だけを見て点数で判断して良いものかというような文言があるような気がするんですけど、どうでしょうか。

委員長：はい、ありがとうございます。今の現時点ではなかなか評価しづらいという。例えば保育活動のしやすきのところとかそういったところはちょっととか3の土地のところもそうですかね。ちょっと評価しにくいよということになったかなと思います。その辺は如何でしょうか、もしあれば補足でもし御意見伺えればと思います。

委員：なかなかこうじゃあそこに複合化とか調整があるのか、これからのまちづくりにね、今どうかかわって行ける雰囲気か、複合化とか調整なんですけど、そういうことが今この場で何とか分かるんですかね。そこまで考える余裕は無くて、それとか安全性を確認してそしてまたやっぱりアクセスとかそういうのが重要になって来て、地域の人に愛されみんなが来やすい場所だとか町民の合意を得やすい場所であるかというのはもうちょっと後にして、その上の方をですね1番から6番ぐらいを重視した方が良いんじゃないかなと思うんですけど。やっぱり防犯なんかもね、防犯対策を確保出来るかっていうのは設計段階、そしてまた作ってからの運営段階の話で今はこれ入れるのかどうかってのもちょっと疑問に思います。以上です。

委員長：ありがとうございます。特に1番から6番のところを重視にということだったかなと思います。如何でしょうか。その辺り実際にこども園の山本先生、どうでしょうか。特に幼稚園の先生としてこういった〇〇だとか、ここのこういうところを重視して欲しいよとか、ここはどうかなっていうところが、あるいは園の先生たちこの辺までこういった評価項目で合意が取れそうかどうか、その辺り如何でしょうか。

山本園長：候補地選定にあたっての評価基準っていうのを職員の方にも配布して見ていただきました。さっき防災、〇〇〇さんが言ったように安全性、防災が主を占めている。本当はごめんなさいね100%それが目的かなって私は思います。でも色んなことを考えてこういう配点になって行くと思うんですが、今、窪田さんが言ったように保育と教育環境もなっているのは後から私たちもちろん安全性の中で出来る環境の中での保育が出来れば良いかなっていうふうに考えていますので、ここの3つの15点が安全性のところに行っても良いのかなと。そして防犯の面でも実は今も職員が防犯の面で一応研修を受けたりだとかっていうふうなことをしていますので、この5点も上に上がって行けば20点で半分50点、防災の方に行くのかなっていうふうには思っているんですけども、色んな面から考えて今、アクセスの面とかもありましたけれども色んな面から考えてそういうふうには行かないの

かなと思いましたが、職員の間ではまずは安全面の方が1に重きにおいて欲しいなということは話しました。

委員長：はい、ありがとうございます。〇〇違うますけど、土屋先生、特に中学校とかこういったもし判断するとなるとこの辺が重要かなとかもし御意見があれば〇〇如何でしょうか。

土屋校長：先ほどから出ている通りだなと自分も思いますので、防犯のところは確かに安全かというのは後の話になって行く感じのところですね。あと対策ですよ。もう1つ自分はちょっと疑問って言うか思うのは6番の工事の周辺の影響なんですけれども、例えばですけれども旧洋ランセンターあそこにした場合はこれは無いわけですよ。影響は無い、たぶん。人が多い所だと影響がある。けれども先ほどからの議論を聞いているとやはりある程度人の多い所に持って行きたい〇〇〇〇。矛盾しちゃうんじゃないか、今までの私たちの議論と。この評価をそれで入れちゃうとそういうことが起きちゃうかなと思うんです。やはり山本係長の先ほどのお話を聞くととにかく安全な場所。そこを重視しなければいけないなという、やっぱりそういう危機感というのを〇〇されますので、ぜひそういった評価基準で付けてみないと分からないのかと思うんですがそういうふうに行って行った方が良いのかなというふう思います。

委員長：ありがとうございます。管理職の立場として御意見をいただきました。皆さんの方は如何でしょうか。もしよろしければ、今の御意見を踏まえてもうちょっとですね、この評価基準についてちょっと検討させていただいて、最終的にやはりここの採点が最終候補地を選ばれて行きますので、採点した結果、本当は皆さんの合意としてはこういう方向だけど点数としては違う方に出てしまったっていうのは一番避けなければならない。ただ、皆さんなんとなく方向は良いよねっていうところをきちんと数字で説明して行くっていうことも一方では必要になって行くので、そういった意味で評価基準というのは慎重に設定して行きたいなというふうに皆さんの意見を伺いながら感じましたので、改めて今日、状況整理シートでいただいたコメントのところとまたこの評価基準についていただいたコメントのところ、そういったところが〇〇〇のかたちでの評価基準というものを事務局等の調整して行きたいなと思いますし、場合によっては幼稚園だったりとか小学校、中学校の先生方あるいは地域、保護者の方のちょっと御意見をですね伺いながらですね、ちょっと急いでこの評価基準を練り上げて行くことも必要かなというふうに思えたので、ちょっとこれについてまた次回までの宿題とさせていただければなと思います。

どうもありがとうございました。

委員：この評価基準を付けるにあたって、なんか1点の思いが変わらないようにして欲しいなっていうのを強く思いまして、試しにこうなんか採点をしてみたいこの点数ぐらいのやつでこれを良しとするとか、50点ぐらいは平均ですとか合計30点ぐらいはあまり推薦できないなみたいな方向性をちょっと示していただくと評価する時に助かるかなと思います。

委員長：ありがとうございました。今日はそれぞれ大まかな基準ということで、例えば1から5でとても良いが5で普通だったら3とかっていう・・・

委員：だから人によってすごく良いと思ってても50点しか付けられない人も居るかも知れないし、100点を付ける人の場合が居るとそれは点数の方が変わって来ちゃうのかなって思って。

委員長：採点する時には、如何にその方が決めた基準で全部の基準を付けていただかないとズレて行く可能性があります。それについてまた評価する際の留意点としてまた確認出来ればなと思っています。ありがとうございます。他如何でしょうか。

委員：これって最終的に点数で場所を決めるんですか。

委員長：これもまた皆さんと次回相談しようかなと思ってるんですが、1つは多数決でここが一番妥当ですよっていうやり方もあります。ただ繰り返し言いますがベストは無いので仮になったとしても協議の中で変えるということはやり方としてはある。一番大事なのはまずこの委員さんの中でこの候補地がやっぱり今の中ではベターだよねという合意が取れることと、そういった取れたことを他の町民の方にも合意が出来るような場所であるかどうか、そっちの方が重要でこれが一番になったからこうですよっていうふうにスムーズに行くことが目的ではないということはこれは〇〇として考え。

委員：ワークショップとはどういうふうな・・・。

委員長：ここはワークショップは一回もう切り離してください。もうここはここだけの、この委員会としての結論を出すという。あくまでもワークショップはこの6の候補地を出して来たでというところで、その結論についてはワークショップ〇〇〇〇。よろしいですか。他に如何でしょうか。

はい、すいません。ちょっと予定していた時間が超過してしまいましたけども、以上用意した議題は以上でございませう。皆さんの方で何かあれば出していただきたいなと思います、如何でしょうか。

委員：これから先これをね、どういうふうに扱っていくのかなとちょっと考えているんですけど、やっぱりあくまでも6つをずっと継続してて絞

って行くのも、あくまでもここは無理だなというのは外して行くとかそういう方法もあると思うんですけど、いつまでも6つにこだわって行く必要はないような気がするんですけど。そして点数で決まってしまうとちょっと危険性があるというか、その辺がね、その意見がねやっぱり出し合わないとなんか危険性があるなという感じがします。

委員長：ありがとうございます。まあ、御指摘の通りかなと思います。なのでこの後も採点するのに6候補地を採点するかどうかという協議というのが最終的に採点する前に必要ですし、採点する前に本当にこれで採点出来るかどうか、この項目で仮に数字が出て来た時、皆さんが納得が出来るかどうかという事も議論した上で採点して行きたいと思います。ただ、議論するだけで時間が過ぎて行っても困ってしまいますので、〇〇次回イメージとしては今いただいた意見と整理シートやその特にデメリットを克服するためにどんなことが出来るかっていうこと。そして合わせてこの評価基準の選定を次回上げさせていただきます、その中でまたさらに〇〇いただいて、ある程度たぶん話して行く中でこういった候補地がある程度、少なくとも2、3個ぐらいになって来ると思うのでそういった中でじゃあ本当に6個採点するかどうか。もうある意味ここはもう絶対ないよねっていうことが皆さんの中で明確に出るのであれば、ここは採点から外すってことも出来るかも知れませんし、だからそれがきちんと外したよっていうことを他の町民の方々にこういう理由で外したっていうことがここでちゃんと合意されることが大事なので、そういった時間を〇〇ために必要な情報だったりだとかデータだったりだとか、そういったものを次回確認した上で出来ればそういったかたちである程度納得した上で採点するというふうな。なので、ちょっとそこはこれからスケジュールにこの後〇〇になるかなと思いますけど、一応そんなようなかたちで〇〇・・・〇〇。他にあるでしょうか。

はい、ありがとうございます。では進行を事務局の方にお返しいたします。

山本係長：では、まず次回につきましては今、委員長から説明がありました通り、こちら状況整理シートについて本日皆様に意見をいただいた部分などを付け加えたりとかですね、またこちら教育委員会の方からの情報を付け加えたりしたものを再度お配りするようなかたちになろうかと思えます。こちらの評価基準についても同様になるかなというふうに思います。それを次回の日程としまして、ちょっとすぐではあります。2月8日にお願い出来ればというふうに考えておりますが如何でしょうか。皆様の都合は如何でしょうか。2月の8日木曜日になり

ます。ちょっと2週間、3週間ぐらいですかね、ちょっとすぐになり  
ますけれども、2月8日木曜日の同じ時間19時にお願い出来ればと  
思っております。では、今のところは御都合の悪いとおっしゃる方が  
いらっしゃりませんのでそのまま予定を進めさせていただきたいと  
思いますが、また何かちょっと都合悪いよという御意見がございましたら  
すぐに電話いただくと助かります。

事務局長：色々建設的な御意見をいただきましてありがとうございます。また  
事務局で持ち帰って検討して次回提出させていただければと思いま  
す。ありがとうございます。

それでは最後に副委員長の方から閉会の挨拶をお願いします。

副委員長：それではご苦労さんでした。前回ちょっと話したと思うんですけど、  
東北の震災の視察に行きました。大川小学校の慰霊碑っていうのは○  
○御存知かも知れません。あの現場を見て見たりしたら先生が言いま  
したようにもう一時の時間は無いということで、いつこういう状況○  
○が来るかは分からないものですから、こういった会議で早く結論を  
出してやっていただきたいなと思っております。そんなことをしてた  
ら1月1日の地震がありまして、もうどうなっちゃってるのかなって  
ね。いつ南海トラフが動き出すか分からない○○○○。なるべく早く  
○○良いんじゃないかなと思ってます。今日はどうもご苦労さんでし  
た。